

インドネシア大手と
協力関係強化で合意

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルの米澤栄二社長は4日、インドネシアのバンドン市で同国の大手総合コンサルティンクサービス会社BIITA社のイラワン・クスモ会長と対談し、戦略的なグローバルパートナーシップを強化する方針で合意した。対談では両社の共同実績を振り返り、優先共同事業として位置付けられる鉄道事業と公共交通指向型開発（TOD）事業の具体的な案件について協

議。海外展開に当たった両社の協働の可能性についても確認した。

オリエンタルコンサルタンツグローバルとBIITA社は、長年にわたってジャカルタの鉄道駅舎や工業団地開発、バンドン工科大学やガジャマダ大学など高等教育施設整備事業、インドネシア全国の防災能力改善事業、プラント事業などで共同事業に取り組んできた。

BIITA社は都市計画、建築、コンストラクションマネジメント（CM）を総合的に手掛ける会社や、環境分野の計画調査を専門と

する会社、建築、インテリア、ランドスケープを専門とする会社をファミリー企業に持つ。インドネシアの首都移転計画や、首都移転後のジャカルタ特別州の都市計画など、同国の国家戦略に携わっている。

アフリカや東南アジア諸国での海外案件の事業実績・経験も豊富で、オリエンタルコンサルタンツグローバルの現地法人オリエンタルコンサルタンツインドネシアの出資会社でもある。